

令和2年度 福井県立金津高等学校 学校関係者評価書

協議題

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策、向上策が適切かどうか。
- ・その他

御意見を伺った方々

学校関係者評価委員会：あわら市教育長（本校育成会代表）、芦原中学校長、金津中学校長
地域住民代表、同窓会長、PTA会長、PTA副会長

御意見

◇学習指導・地域連携（中高一貫）

- 中高一貫教育における、連携中学校教師や保護者の理解が深まっているか。
 - ・コロナにより計画通りに行事ができていないが、中学校訪問による説明や教科担当者間の連携により相互理解を深めた中で取り組んでいる。昨年より保護者の理解も向上している。
 - ・如月ハイスクールや課題探求型活動など、日程や内容を工夫して開いていただけることは大変ありがたい。
- ポートフォリオ、NIEの取り組みが共通テスト対応や「思考力問題」にどのような効果が得られているか。また、タブレットの活用状況はどうか。
 - ・IPT企画室では、大学入試制度改革に対応するため高校3年間のポートフォリオを蓄積してきた。今年度の入試では、事前の予想より活用されなかったが、今後も引き続き続けていく。
 - ・共通テストでは、長文や思考力が問われる内容が多くなっている。そのため、朝読書で新聞記事の読み比べをして、物事を多面的に捉える力や読解力を少しでも向上させたいと考えている。
 - ・タブレットは導入されたばかりであり、今後本格的な活用を進めていく。「個別最適化」という教育の大きな流れに向けて、教材を工夫しながら積極的に活用していきたい。ただ、回線が細く一度に接続できる台数が限られていることが大きな課題である。
- 基礎的な学習内容の理解度が低く、学力が伴わないために学校生活が楽しくないと思っている生徒がいないか。そのような生徒については、どのような対応をしているか。
 - ・これまでより学力がやや低いと思われる生徒も入学している。学習についていけない生徒の状況をよく見て、しっかりと目をかけていくことが必要であるという教員間の共通認識を持ち、丁寧に指導していく。

◇生徒指導

- コロナの影響により、部活動で目標を失った3年生に影響はなかったか。
 - ・部活動でインターハイ予選大会が中止になり、休校が決まった時点で部活を辞めることを判断した生徒もたくさんいた。学校生活において、気力の面での影響が出ないかと心配したが、各顧問が適切なケアを行ったこともあり、思いの外切り替えが早く、学校祭でいろいろな思いを発散し活躍した。
- コロナで様々な制約がある中においても、金津高校の部活動が活躍するニュースは大変すばらしい。そこに魅力を感じている中学生もいる。教員の働き方改革の中で大変だと思うが、引き続き部活動の指導も頑張ってもらいたい。
- 挨拶があまりできていないという生徒が若干いるが、学校を休みがちな生徒への対応はどうか。
 - ・休みがちな生徒も含めて、きちんと挨拶ができる習慣を確立している生徒が多い。今後は、学校外の人にも、挨拶の意義を理解して、積極的に挨拶ができるように指導していく。

◇進路指導

- 共通テストはセンター試験と比較して、実際どのような内容だったのか。
 - ・今回は記述式導入が見送られた。マーク式であっても、生活の場面を用いた内容や、資料の読み取りなど、思考力を試される内容が増えた。全般に問題量が増えたので解くスピードが求められるものになった。ただ、これらは事前の予測と大きく違ったものではなく、難易度も昨年と変わらなかった。本校の平均点は、昨年より上昇した。

◇保健管理

- コロナ感染症の健康調査について、高校ではどのような対応をしているか。
 - ・毎朝、家庭で検温、健康観察表に記入したものを担任が回収してチェックしている。37度以上の場合は自宅休養措置を認めている。
- 生徒に向けた心身の健康管理についての設問は、具体的な選択肢のある質問になっているのか。
 - ・具体的な選択肢はない。生徒が答えやすく、学校側も把握しやすいものになるよう検討していく。心の健康という面では、全校生徒対象に毎月「心のチェック」を教育相談で実施している。今年度からスクールカウンセラーに毎月来ていただいております、心理的な不調を訴える生徒には面談をいただいております。

◇開かれた学校づくり

- PTA日より、ホームページを更新する頻度についての決まりがあるか。ホームページを更新したことの通知や見ていただくための工夫をしているか。
 - ・PTA日より、各学期に一度発行している。ホームページについては、随時更新している。ホームページにも、学年通信や進路だよりを載せており、コロナで学校行事の変更など重要な連絡を掲載した場合は、一斉メールで保護者に通知した。平時における更新の通知はしていない。
- メールをもっと活用して更新を知らせてはどうか。学校で行っている活動は、積極的にアピールしていった方が保護者にも伝わるのではないか。
- 中学生や保護者は、トイレなどの環境で高校を選ぶ側面もある。トイレの洋式化、ウォッシュレット化の改善率はどうなっているのか。
 - ・普通教室のトイレは3年計画ですべて洋式化する工事を進めている途中であり、ウォッシュレット対応のものを想定している。トイレの乾式化については、現在福井県では予算的に対応できていない。
- 将来的には、煙突ストーブをエアコンなどに変えてほしい。

◇図書指導

- 図書の購入については、生徒の要望を聞いているか。また、読書の内容について、先生方からジャンルをすすめているのか、子供に任せているのか。
 - ・図書の要望は、生徒に意見を聞いており、図書委員が直接書店に行って選んでいるものもある。
 - ・読書内容は、学校側で生徒のニーズに合わせて用意するものもあるが、生徒が主体的に選ぶことが多い。3年生の秋になると、進路に必要な分野の本をよく読んでいる。

◇全体（総括）

- 学校評価書の成果と課題およびそれらを踏まえた今後の改善策、向上策は適切である。

◇学校関係者評価を踏まえた今後について

- ・今年度の学校評価の結果および学校関係者評価に基づき今後の課題について改善・工夫を行い、次年度のスクールプラン、教育方針・教育目標に活かしていく。